

千葉県障害者芸術文化活動支援センター展覧会「あらゆるひとの表現 うみのもりの玉手箱5」
受賞作「ごちゃまぜスマイル!A to Z」©渡部寛人　写真：竹村浩輝

令和8年度

ちば農福連携フォーラム

参加無料　事前申込制

つながる農と福祉。広がる未来。

日時　12月4日(金)
12:00～16:00(受付11:30～)

会場　ペリエホール RoomA・B
(千葉市中央区新千葉1-1-1ペリエ千葉7F)

対象者　農業関係者、福祉関係者、教育関係者、企業、消費者、行政機関 等

定員　120名程度

農福連携の現場で生まれている新しい仕事や地域とのつながりを、講演・事例紹介・展示・ノウフク商品の試食を通して体感できるフォーラムです。「農福連携を始めたい」「取組を広げたい」「地域で何か新しいことをしたい」「ノウフク商品や農福連携の取組を応援したい」―そんな皆さまのご参加をお待ちしています。

ご参加のお申込みはこちらから➡　ちば農福連携フォーラム

申込締切　11月27日(金)　17時まで

必要事項をご入力の上、お申し込みください　※先着受付のため定員に達し次第申込は終了いたします。

タイムスケジュール

- 11:30～：受付・展示ブース開場
- 12:00　：開会
- 12:10　：基調講演
- 13:10　：事例発表①
- 13:40　：事例発表②
- 14:10　：出展ブース紹介
- 14:35　：マッチング・交流会
- 16:00　：閉場

プログラムのご紹介

【基調講演】

経営に強さを、地域に元気を
～京丸園が実践する『ユニバーサル農業』～



京丸園株式会社　代表取締役／鈴木 厚志氏

農業・福祉・企業の連携モデルである「ユニバーサル農業」を実現し、現在は20歳から90歳までの老若男女110名が働く。地域連携としては、浜松市ユニバーサル農業研究会において、強い農業の実現に向けた研究会活動を実施している。　令和4年／ノウフク・アワード2021　グランプリ受賞
令和4年／障害者雇用優良事業所　厚生労働大臣表彰受賞

【事例発表①】

安房で育み、安房でつなぐ
～点から面へ、地域に広がる農福連携～



安房農業協同組合営農部
担い手支援課
統括リーダー／加藤 浩生 氏

館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町
地域自立支援協議会就労部会
部会長／岡田 貞美 氏

【事例発表②】

農福連携は私達が社会で活躍できる活動です!
～みんなの目線で農家側と福祉側から語る～



NPO法人ジョブファーム
(就労継続支援B型事業所／大網白里市)
代表／高橋 正己 氏



内山農園(大網白里市)
内山 文子 氏

内容は予告なく変更になる場合がございます。

主催：千葉県

イベント内容に関するお問合せ：
千葉県農林水産部 担い手支援課 経営体育成班　電話番号：043-223-2905
お申込に関するお問合せ：
運営事務局(株式会社オニオン新聞社内)E-mail：noufuku@onionnews.co.jp

後援：一般社団法人日本農福連携協会／一般社団法人千葉県商工会議所連合会／千葉県農業協同組合中央会／全国農業協同組合連合会千葉県本部／特定非営利活動法人千葉県障害者就労事業振興センター／千葉県農業者総合支援センター

農業と福祉が出会うと、どんな未来が生まれる？
こんな方におすすめ！

県内事例は
新たな取り組み方法の
情報源となりました
（昨年参加者の声）

農業者
農業経営の発展や
多様な人材の活躍に関心のある農業者

福祉関係者
障害のある方の働く場や
活躍の機会を広げたい福祉関係者

多くの企業におすすめ
したいフォーラムです。
（昨年参加者の声）

企業・団体
農福連携の取組に
関心のある企業・団体

地域の方
地域を元気にする取組に
関心のある方

消費者
農福連携から生まれた商品や
活動を応援したい消費者

農福連携の
大きな可能性を
感じることができました
（昨年参加者の声）

どなたでも
農業・福祉・地域づくりの
新たなつながりを見つけたい方

プログラムのご紹介

基調講演
京丸園は、農福連携という言葉が生まれる以前から、障害のある方の雇用に取り組んできました。現在は、農業・福祉・企業が連携する「ユニバーサル農業」を実践し、20代から90代までの幅広い世代約110名が働いています。本講演では、「農業経営として成り立つこと」を出発点とした農福連携の取組や、その実践を通じて得られた知見についてご紹介いただきます。農福連携に関心のある方や、取組を検討している農業者の皆様にとって参考となる内容です。

事例発表①
JA×地域自立支援協議会就労部会
安房地域で農福連携の推進に取り組むJAと地域自立支援協議会就労部会による共同発表です。令和5年度から農福連携の取組がスタートし、個別の取組にとどまらず、地域全体へ面的に広がりを見せていることが特徴です。本発表では、現在の取組に至るまでの経過や工夫について、農業・福祉それぞれの立場からご紹介いただきます。地域で農福連携の推進を検討している方々にとって参考となる内容です。

事例発表②
ジョブファーム×内山農園
大網白里市で約10年にわたり農福連携に取り組むジョブファーム（就労継続支援B型）と内山農園による共同発表です。福祉事業所自らが取り組む農福連携や、地域の農家との連携事例、農福連携が障害のある方の大切な働く場や居場所づくりにつながっていることについて、農業・福祉それぞれの立場からご紹介いただきます。農福連携の実践や障害のある方の働く場づくりに関心のある方にとって参考となる内容です。



【会場アクセス】
ペリエホール（ペリエ千葉7F）
〒260-0031
千葉県千葉市中央区新千葉1-1-1

【電車でのアクセス】
■JR千葉駅東口より 徒歩0分
■京成千葉駅より 徒歩1分
■モノレール千葉駅より 徒歩1分

※お車でお越しの方は、会場周辺のコインパーキング等をご利用いただけますようお願いいたします。なお、本イベントでの駐車サービス券の発行・割引対応はございません。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

出展ブース

■相談窓口
（一社）日本農福連携協会が農福連携に関する情報や全国事例をご紹介します。



■取組事例・商品の紹介
農福連携に取り組む農業関係者や福祉事業所が出展し、交流していただけるブースです。試食ができるブースもご用意しています。



■ノウフク体験ブース
治具等の工夫により、障害のある方も農作業に取り組めることを体験していただけます。

※上記以外の展示もご用意しています。

ご参加のお申込みはこちらから➡
ちば農福連携フォーラム｜Q
申込締切
11月27日（金）
17時まで
必要事項をご入力の上、お申し込みください　※先着受付のため定員に達し次第申込は終了いたします。

【同日開催】ちば農福連携マルシェのご案内
ノウフク商品の合同販売会を開催します。フォーラムと併せてぜひお立ち寄りください。
◆日時/12月4日・5日 11:00～19:00 ◆会場/JR千葉駅中央改札外コンコース特設会場
【お問い合わせ先】NPO法人千葉県障害者就労事業振興センター　043-202-5367

主催：千葉県

イベント内容に関するお問合せ：
千葉県農林水産部 担い手支援課 経営体育成班　電話番号：043-223-2905
お申込に関するお問合せ：
運営事務局（株式会社オニオン新聞社内）E-mail：noufuku@onionnews.co.jp

後援：一般社団法人日本農福連携協会／一般社団法人千葉県商工会議所連合会／
千葉県農業協同組合中央会／全国農業協同組合連合会千葉県本部／
特定非営利活動法人千葉県障害者就労事業振興センター／
千葉県農業者総合支援センター